

坂出市高齢者福祉計画および第7期介護保険事業計画  
第5章 施策の推進

「1. 自立支援・重度化防止の推進」実施状況等および令和3年度～令和5年度計画(予定)

No.	分類	目標	第7期における具体的な取り組み	評価指標 (A)	課題と対応策 (D)	令和3年度～5年度計画(予定) (E)	担当課	事業計画 ページ												
6	(4)生涯現役の推進	健康づくりの推進	<p>【継続】</p> <p>①循環器疾患や糖尿病の予防のための生活習慣病改善についての普及啓発</p> <p>②特定健康診査の受診勧奨</p> <p>③家庭訪問、健康相談、健康教育などきめ細やかな保健指導の実施</p> <p>④適切な食事、適度な運動、禁煙などの生活習慣の改善の促進</p>	<p>・特定健康診査・保健指導の実施率(第2次坂出市健康増進計画)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度</th> </tr> <tr> <td>特定健康診査</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>特定保健指導</td> <td>60%</td> </tr> </table> <p>・メタボリックシンドロームの該当者および予備軍の割合(第2次坂出市健康増進計画)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度</th> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>28.7%</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>10.6%</td> </tr> </table>	項目	令和6年度	特定健康診査	60%	特定保健指導	60%	項目	令和6年度	男性	28.7%	女性	10.6%	<p>継続して、老人大学や市政出前講座、地域の仲間づくりなどで、生活習慣病予防の取り組みについての健康教育を行う。</p> <p>また、高齢期からの健康づくりだけではなく、若い世代から自分の心身の状況や健康づくりに関心をもってもらい、疾病予防や重症化予防の取り組みを行っていく。</p>	<p>①生活習慣病予防について、関係団体とも連携し、一人ひとりが主体的に取り組むよう専門的な普及啓発</p> <p>②適切な治療と保健指導が受けられるよう、かかりつけ医を中心に医療機関等と連携</p> <p>③特定健康診査の受診勧奨、無関心層への積極的な働きかけ</p> <p>④家庭訪問、健康相談、健康教育などきめ細やかな保健指導の実施</p> <p>⑤適切な食事、適度な運動、禁煙などの生活習慣の改善の促進</p>	けんこう課	P59
項目	令和6年度																			
特定健康診査	60%																			
特定保健指導	60%																			
項目	令和6年度																			
男性	28.7%																			
女性	10.6%																			
7		生涯学習やスポーツ活動を通じての生きがいの推進	<p>【拡充】</p> <p>①ラジオ体操普及活動</p> <p>【継続】</p> <p>②生涯学習フェスタにおける各種団体の参加者増</p> <p>③生涯スポーツの普及</p> <p>④体力測定の実施</p> <p>⑤高齢者の生きがいのための各種講演会(老人大学等)</p>		<p>①市内全域にラジオ体操の拠点となるラジオ体操広場の増設を継続して計画する。</p> <p>②展示、ステージ発表、体験教室を通じて、生涯学習の推進を図っていく。</p> <p>③引き続き、生涯スポーツの紹介や、大会を開催するなど生涯スポーツに親しむことができる環境づくりに取り組む。</p> <p>④体力測定の有効性の周知など広報等の強化により参加者の増加に努める。</p> <p>⑤継続していく</p>	<p>①新たなラジオ体操広場の開設に向けて各地区と協議を行うと共に、新型コロナウイルス感染症防止に配慮したラジオ体操大会の検討を行う。</p> <p>②生涯学習活動をされている各種団体と連携を取りながら生涯学習フェスタを開催していく。</p> <p>③新型コロナウイルス感染拡大防止策を取りながら、新たな生涯スポーツの在り方を検討する。</p> <p>④令和2年度中止となっている体力測定について、新型コロナウイルスの感染状況を考慮に入れながら令和3年度以降の実施を検討する。</p> <p>⑤高齢者の生きがいのための各種講演会(老人大学等)を通じて、高齢者の生きがいの推進を図る。</p>	生涯学習課 ふくし課	P60												
8		高齢者の多様な活動の推進	<p>【継続】</p> <p>③シルバー人材センターの活動の充実および会員増に向けての広報活動</p>		<p>③定年延長や雇用の延長により、60歳代前半の男性会員の獲得が難しくなっており、シルバー会員の平均年齢が上昇している。会員増に向けて、就業意欲の高い65歳以上のかたの入会者が増えるように努める。</p>	<p>③引き続き、シルバー人材センターの活動の充実および会員増に向けての広報活動に取り組んでいく。</p>	ふくし課	P60												

「2. 高齢者の生活を支える体制の充実」実施状況等および令和3年度～令和5年度計画(予定)

No.	分類	目標	第7期における具体的な取り組み	評価指標 (A)	課題と対応策 (D)	令和3年度～5年度計画(予定) (E)	担当課	事業計画 ページ
1	(1)地域住民による自主活動の充実	地域住民同士の交流の推進	<p>【拡充】</p> <p>①老人クラブ等の活動の多様化</p> <p>②老人クラブ等への参加促進</p> <p>【継続】</p> <p>③坂出市社会福祉協議会が推進している仲間づくり活動との連携・支援</p> <p>④小・中学生による福祉施設への訪問や運動会等における高齢者との交流活動等の開催</p> <p>⑤小学生等によるひとり暮らし高齢者宅への配食サービス、手紙の配達</p> <p>⑥民生委員・児童委員や関係機関団体との連携</p>		<p>①②老人クラブの会員数は減少傾向にあるため、各地区老人クラブ会長、地区単位クラブによる会員加入の呼びかけを続けていく。</p> <p>③連携・支援を継続していく。</p> <p>④⑤各小中学校で地域と交流できる事業を継続して実施していく。</p> <p>⑥連携・支援を継続していく。</p>	<p>①多様な意向に対応できるように活動の多様化を図るため、老人クラブに対する支援をおこなう。</p> <p>②会員数、クラブ数ともに増加を図るよう取り組んでいく。</p> <p>③市社会福祉協議会と連携し、各地区社会福祉協議会内の仲間づくり活動を助成することにより、引き続き連携・支援を継続していく。</p> <p>④⑤福祉施設への訪問、運動会等行事における児童生徒と地域高齢者との交流等、各学校の中で位置づけられた活動として各校の実情に応じた交流活動を実施していく。</p> <p>⑥民生委員・児童委員や関係機関団体との連携を継続していく。</p>	ふくし課 学校教育課	P63

No.	分類	目標	第7期における具体的な取り組み	評価指標	課題と対応策 (D)	令和3年度～5年度計画(予定) (E)	担当課	事業計画ページ								
2	(1)地域住民による自主活動の充実	地域住民がお互いに助け合い、支え合う体制づくり(地域共生社会の実現)	<p>【拡充】</p> <p>②見守り活動、ボランティア活動を実施している各団体のネットワーク化を通じた連携体制の構築、活動ノウハウの共有</p> <p>③坂出市社会福祉協議会ふれあいサービスとの連携、協力会員登録のための支援を通じた担い手の確保、潜在的担い手の発掘</p> <p>【継続】</p> <p>④地区社協やNPO法人による配食サービス、声かけ・見守り活動、いきいきサロン、居場所づくり等の活動への支援</p> <p>⑤民生委員・児童委員による援護を必要とする住民への見守りや声かけと相談支援活動の推進</p>		<p>②連携・支援を継続していく。</p> <p>③連携・支援を継続していく。</p> <p>④支援を継続していく。</p> <p>⑤高齢者実態調査は、個人情報保護の意識からか、調査拒否の者が増加傾向にある。住民票を異動せずに転居している場合は居所が分からないので調査ができない。</p>	<p>②補助を継続し、見守り活動、ボランティア活動を実施している各団体のネットワーク化を通じた連携体制の構築、活動ノウハウの共有の拡充に努めていく。</p> <p>③坂出市社会福祉協議会ふれあいサービスとの連携をおこない、協力会員登録のための支援を通じた担い手の確保、潜在的担い手の発掘に取り組んでいく。</p> <p>④地区社協やNPO法人と協力し配食サービスを継続・拡充していく。また、声かけ・見守り活動、いきいきサロン、居場所づくり等の活動への支援を継続していく。</p> <p>⑤引き続き、民生委員・児童委員の協力による高齢者実態調査を行い、援護を必要とする住民への見守りや声かけと相談支援活動を推進していく。</p>	ふくし課	P63								
5	(2)在宅生活支援の充実	在宅介護の支援	<p>【拡充】</p> <p>①介護支援サービスの充実 ◆寝具乾燥消毒サービス事業 ◆老人入浴サービス給付</p> <p>②きんとキット(救急医療情報キット)、携帯カード、119番登録制度の普及啓発および消防本部との連携</p>		<p>① ◆入浴サービスを提供できる浴場が、市内で1か所のみとなっている。</p> <p>②・きんとキット(救急医療情報キット)の配布を継続していく。</p> <p>消防本部と連携して119番登録制度の普及啓発を継続していく。</p>	<p>① ◆引き続き、老人入浴サービス給付事業に取り組んでいく。</p> <p>②民生委員などの協力により、普及を図るとともに、救急時に十分活用されるよう、消防本部との連携を深めていく。また、119番登録制度についても、登録の推進をしていく。</p>	ふくし課 消防本部	P65								
6		ひとり暮らし高齢者への生活支援	<p>【拡充】</p> <p>①見守り協定事業の実施(郵便局、JA、新聞販売店等)</p> <p>②介護支援サービスの充実 ◆老人福祉電話貸与事業 ◆要援護老人給食サービス事業</p> <p>③高齢者見守り支援事業(坂出ほっとふれんず)による訪問活動を通じたニーズ把握および必要なサービスにつながるための支援</p> <p>④老人クラブによるひとり暮らし高齢者世帯・寝たきり高齢者宅への訪問</p>		<p>①見守り活動は、今後も連携して見守りを実施していく。</p> <p>②老人福祉電話貸与の、簡易型の緊急通報装置では、事態によっては緊急時の対策として不安がある。要援護老人給食サービス事業は、川津・松山以外の地区では、配食ボランティアが確保できないことから、実施地区の拡大が困難な状況である。</p> <p>④老人クラブによる訪問回数や訪問者数が地区によって違っている。訪問回数や訪問者数については、特に決まりがあるわけではないが、ある程度は統一できるように各地区に周知していきたい。</p>	<p>①継続実施。</p> <p>② ◆老人福祉電話貸与事業引き続き、老人福祉電話貸与事業を実施する。</p> <p>◆要援護老人給食サービス事業引き続き、要援護老人給食サービス事業を実施するとともに、実施地区の拡大については他地区の状況を見守っていく。</p> <p>◆坂出市あんしん通報サービス緊急通報システムに係るサービスにより高齢者への生活支援と不安の解消を行う。民生委員やケアマネなどの協力により、更なる普及を図っていく。</p> <p>④継続実施。</p>	ふくし課	P66								
9	(4)住み慣れた地域で安心して生活するための環境づくり	高齢者に適切な住まい環境の整備	<p>【拡充】</p> <p>①軽費老人ホーム(20室)の整備</p> <p>②軽費老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅、養護老人ホームの状況把握と情報提供</p> <p>③坂出市民間住宅耐震対策支援事業の推進</p>	<p>③耐震改修R3～R5計画(計画)件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震改修</td> <td>9件</td> <td>9件</td> <td>9件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※過去5年間の平均件数(≒9件/年)を1年間の計画件数としている。</p>		R3年度	R4年度	R5年度	耐震改修	9件	9件	9件	<p>①軽費老人ホームの整備に取り組んだ。</p> <p>②養護老人ホーム等の状況把握と情報提供は継続して行っていく。</p> <p>③耐震改修は費用面の問題もあり、耐震診断を実施しても耐震改修の実施に繋がりにくい傾向があるため、耐震診断の実施者に対し、効果的な広報活動等の取り組みが必要である。</p>	<p>①軽費老人ホームの整備は達成。</p> <p>②養護老人ホームへの入所相談を受けた際には、情報提供や入所調整を実施するとともに、その他の施設に関する相談については関係部署等へつないでいく。</p> <p>③引き続き、坂出市民間住宅耐震対策支援事業推進に取り組んでいく。</p>	ふくし課 建設課	P68
	R3年度	R4年度	R5年度													
耐震改修	9件	9件	9件													
		高齢者や障がい者など地域住民が生活しやすい都市整備	<p>【継続】</p> <p>①適切な歩道幅員や段差解消、勾配の軽減等バリアフリーを考慮した街路整備</p> <p>②高齢者や子どもの利用に配慮した公園などの整備</p> <p>③デマンド型乗合タクシー、循環バスの利用促進</p>	<p>・循環バス利用者数(坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>72,000人</td> </tr> </tbody> </table>		令和6年度	利用者数	72,000人	<p>①街路の整備に取り組んだ。</p> <p>②高齢者の健康増進や体力づくりに利用できる環境の整備を図る。</p> <p>③ ・デマンド型乗合タクシーは、今後も、地域住民の声を聞くなど、利用者ニーズを把握し、PR等更なる利便性の向上に取り組み利用促進を図る。 ・循環バスは、今後も利用者増に向けてPR等を行い、利用促進を図る。</p>	<p>①引き続き、街路の整備を継続していく。</p> <p>②既存施設の有効活用を積極的に推進し、公園の再整備を行う。</p> <p>③事業を継続するとともに、引き続き利用促進に努める。また、利用者のニーズに応じた見直しに取り組む。</p>	都市整備課	P69				
	令和6年度															
利用者数	72,000人															

No.	分類	目標	第7期における具体的な取り組み	評価指標 (A)	課題と対応策 (D)	令和3年度～5年度計画(予定) (E)	担当課	事業計画ページ																
10	(4)住み慣れた地域で安心して生活するための環境づくり	交通安全の推進および高齢者の事故防止対策の強化	<b>【継続】</b> ①高齢者運転免許証自主返納支援事業 ②高齢者の参加による交通安全キャンペーンの実施 ③老人大学,自治会での高齢者交通安全教室の開催		①運転免許証を返納後もこれまで通り不自由なく生活ができるよう,今後も支援事業を継続していく。 ②③今後も継続して実施していく。	①引き続き,運転免許証自主返納者への支援を継続し,高齢者の移動支援に努める。 ②高齢者の参加による交通安全キャンペーンを実施していく。 ③老人大学,自治会等での高齢者交通安全教室を開催していく。	都市整備課 共働課	P69																
11		災害および救急救命時を想定した支援体制の整備	<b>【拡充】</b> ①福祉避難所(二次避難所)の整備 <b>【継続】</b> ②自主防災組織の結成および活動の促進 ③避難行動要支援者避難支援計画の普及活動 ④災害時の避難体制(避難行動要支援者避難支援計画〔個別計画〕)の整備 ⑤119番登録制度の普及促進 ⑥老人大学での救急実技指導および防火講演 ⑦住宅用火災報知器の普及活動	・福祉避難所(二次避難所)数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>20施設</td> <td>21施設</td> <td>21施設</td> </tr> </tbody> </table> ・自主防災組織カバー率(坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カバー率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和4年度	令和5年度	施設数	20施設	21施設	21施設		令和3年度	令和4年度	令和5年度	カバー率	100%	100%	100%	①更なる体制強化のため,福祉避難所の増設をめざしていく。 ②地域によって活動状況が異なるため,組織の活性化を図り,積極的な活動を促していく必要がある。 ③普及活動を継続していく。 ④要介護認定者等に限らず,災害時において支援を必要としているかたについても把握していく必要がある。 ⑤登録番号や登録をしたこと自体を利用者が忘れてしまっていることがあり,制度の十分な活用ができないことがある。 ⑥老人大学での講演の継続により,普及・啓発活動を継続する。 ⑦設置してから約10年で電池交換の時期になるため,その対応について検討の必要がある。	①引き続き,福祉避難所(二次避難所)の整備に取り組んでいく。 ②自主防災組織カバー率100%を維持するとともに,組織の活発な活動を促進していく。 ③今後も普及活動を継続していく。 ④引き続き,避難行動要支援者避難支援計画の普及活動に取り組んでいく。 ⑤各種講習会等で119番登録制度の普及促進を継続実施する。 ⑥出前市役所ほかイベントにおいて救急および防火について広報活動を継続する。 ⑦住宅用火災警報器の普及を推進するため広報紙ほかの媒体に投稿するとともに街頭活動を継続する。 また,設置してから約10年で電池交換の時期になるため,その対応について検討していく。	危機監理室 消防本部 ふくし課	P70
	令和3年度	令和4年度	令和5年度																					
施設数	20施設	21施設	21施設																					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度																					
カバー率	100%	100%	100%																					